# 【産官学金労言が連携した川西版地域経済エコシステムの構築による“しごとづくり”プロジェクト】令和７年度事業概要

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 担当課 | 商工観光課 | | | | | | 初回採択回 | 令和７年度第１回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費<br>（カッコ内はR7年度事業費） | 56,858千円<br>（19,806千円） |
| 経費の類型 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | 事業分野 | ローカルイノベーション分野 |
| 目的・効果 | • 本町の強みである一次産品の生産者育成と付加価値向上を図る。<br>• 町内の中小、小規模事業者の人材育成や新事業へのチャレンジ等を支援するとともに、創業支援や企業誘致を図る。<br>• 協業やイノベーションを誘発する環境（コワーキングスペース、シェアオフィス）の整備を行う。 | | | | | | | |
| 事業概要・主な経費<br>※経費内訳はR7年度事業費 | ①一次産品の生産者育成支援<br>新規就農支援、女性農業者支援（補助金）960千円<br>②一次産品の付加価値向上<br>オリジナルダリア生産振興（委託料、需用費）832千円<br>米沢牛消費宣伝（負担金）400千円<br>③製造業者、商業者の人材育成・事業支援<br>支援体制整備（補助金）6,000千円<br>人材育成、雇用対策（補助金、委託料、需用費）640千円<br>イノベーション支援（補助金、負担金、需用費）3,934千円<br>④創業支援と企業誘致<br>創業支援、企業誘致（補助金、委託料）3,253千円<br>⑤協業やイノベーションを誘発する環境整備<br>シェアオフィス、コワーキングスペース整備<br>（工事費、備品購入費）3,787千円 | | | | | |  | |
| 地域の多様な主体の参画 | 官民連携による「にぎわいづくり協議会」を創設し、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、一貫した事業の実施体制を整え、「しごとづくり」を推進していく。<br>また、各主体間での情報共有を積極的に行い、事業の効果検証、事業改善を図る。 | | | | | | KPI<br>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ①新規雇用者数　（＋60人）<br>②認定新規就農者数　（＋9人）<br>③創業または新分野進出社数　（＋12社）<br>④インキュベーション施設利用者数（＋4,500人）<br>⑤新商品・サービス数　（＋6件） |

# 【産官学金労言が連携した川西版地域経済エコシステムの構築による“しごとづくり”プロジェクト】令和７年度事業評価

| | 合計 | | 令和７年度（実績値） | | 令和８年度（計画値） | | 令和９年度（計画値） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 | ３３，９５４千円 | | １０，１１４千円 | | １１，９２０千円 | | １１，９２０千円 | |
| 交付金 | １６，９７７千円 | | ５，０５７千円 | | ５，９６０千円 | | ５，９６０千円 | |
| 重要業績評価指標（KPI） | 指標名 | 事業開始時点 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 |
| | 新規雇用者数（人） | 125 | 137 | 139 | 150 | － | 165 | － |
| | 認定新規就農者数（人） | 0 | 3 | 3 | 6 | － | 9 | － |
| | 本事業による創業または新分野進出社数（社） | 0 | 4 | 0 | 8 | － | 12 | － |
| | 本事業によるインキュベーション施設の利用者数（人） | 0 | 1,000 | 78 | 2,500 | － | 4,500 | － |
| | 本事業による新商品・サービス数（件） | 0 | 1 | 2 | 3 | － | 6 | － |
| 結果及び評価 | 実施結果 | 官民連携によるプラットホーム「にぎわいづくり協議会」を創設し、本町の強みである一次産品の生産者育成に向けた女性農業者支援と付加価値向上に向けたオリジナルダリア生産振興と米沢牛消費宣伝の支援を行ったほか、製造業者、商業者の人材育成に向けて、事業者支援体制の強化及び人材育成等へ支援を行った。また、協業やイノベーションを誘発する環境整備に向けて、コワーキングスペース等の備品整備を図った。 | | | | | | |
| | KPI達成状況 | 3 | ← 1 目標達成 2 おおむね達成できた 3 達成できなかった | | | | | |
| | 達成状況の要因 | 新規雇用者数は、就職面談会や職業体験、模擬面接会等、ハローワーク及び地区雇用対策協議会等と連携して雇用対策に取り組んだことにより目標達成できた。認定新規就農者数は、就農後の支援の充実を図り、新たに３名を認定し、目標達成できた。創業または新分野進出者数は、新規創業及び新分野進出に向けた補助事業を募集したが、周知不足もあってか応募が無かった。インキュベーション施設の利用者数は、２施設を対象としているが、１施設が８年度稼働のため、利用者数が伸びなかった。新商品・サービス数は、若手農業者を中心に、新たな事業展開への機運の高まりにつなげることができた。 | | | | | | |
| | 多様な主体からの意見等 | ダリヤ生産部会の中でオリジナルダリアの生産振興に向けた取組として一定の成果が見られたと評価いただいた。また、商工会や金融機関から新規創業に向けた補助金等の各種補助制度の活用実績は少なかったものの、それぞれ相談件数はあったため、一定の周知が図られおり今後に繋がっていくのではとの意見があった。 | | | | | | |
| | 今後の展開 | ３年間の計画の初年度である７年度の事業実績を踏まえて、今後の見通しを再考し、実施計画の８年度９年度の事業経費見直しを行った。今後８年度の事業実績を踏まえて９年度の事業内容を見直しながら３年間の目標値到達に向けて取り組んでいく。 | | | | | | |